



ITECセミナー 開催のお知らせ

組織におけるイノベーションと文化
—文化心理学のアプローチ—

日時 2016年12月22日（木）13:10~14:40

場所 同志社大学 寒梅館3階 プレゼンテーション・ホール (KMB319)

講師 北山 忍 氏

ミシガン大学 心理学部

ロバート・ザイヤンス 冠教授

社会心理学科 学科長

同志社大学

ITEC 客員教授



北山 忍（きたやま しのぶ）氏のプロフィール：

1981年京都大学大学院哲学研究科心理学修士課程終了、1987年にミシガン大学にてPhD取得。その後、オレゴン大学、京都大学、シカゴ大学において、比較文化心理学の研究を行い、現在は当該分野の世界的権威として、ミシガン大学心理学部のロバート・ザイヤンス冠教授及び当該学部社会心理学科長を務めている。主な著書に、Kitayama, S., & Cohen, D.(2007). Handbook of cultural psychology. New York: Guilford Press, 『認知科学モノグラフ9自己と感情』（共立出版）、柏木恵子・北山忍共編『文化心理学 理論と実証』（東京大学出版会）など多数。

講演の概要：

イノベーションは、その文化的背景を抜きには理解できない。本講義では、特に洋の東西の文化的背景に焦点を当て、その人類史・歴史・生態・社会・思想的背景を考慮に入れ、現代見られる文化的思考様式の違いと類似性を考察する。特に、西洋と較べ、東洋、とりわけ日本の思考様式はより包括的・場依存的である。これらの観察に基づいて、日本組織におけるイノベーションのあり方について考察する。

プログラム

13:10~14:10 講演

14:10~14:40 質疑応答

* 来聴歓迎 *

* 参加費無料 *

イノベーションと文化：人類の発展はイノベーションの歴史ともいえよう。その意味で、イノベーションのあり様は、時代そして文明のあり様と不即不離の関係をもって変化してきた。この関係を今日のコンテキストに当てはめると、イノベーションのあり様は、各国文化のあり様と相互に影響しあいながらその形を形成していると推察できる。

今回のITECセミナー「イノベーションと文化」においては、この関係に光を当てることを目指す。

=お申込み・お問合せ=

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

FAX：075-251-3139 E-mail: itec@doshisha-u.jp

URL：http://www.itec.doshisha-u.jp/